



ファイル・カテナチオ

File・Catenaccio



オリジナルガイドブック

目次

ようこそファイル・カテナチオへ	2
ファイル・カテナチオとは	2
ファイル・カテナチオの対応ファイル形式	2
ファイル・カテナチオのインターフェイス	3
ファイル・カテナチオの使い方	5
使いはじめる（インストール）	5
隠し部屋をつくる	6
隠し部屋を開く	7
閲覧用ファイルを閲覧・再生する	9
各種アプリケーションの文書ファイルを閲覧・編集する	10
ファイルを管理する	10
「ボスが来た！」機能	11
環境設定	12
隠し部屋フォルダーを移動する	12
メディアプレーヤーを変更する	13
カテナチオファイラーを開くときにサウンドを鳴らす	13
合言葉を変更する	14
「ボスが来た！」で表示する画像を変更する	15
ファイル・カテナチオのアップデート	15
ファイル・カテナチオのアンインストール	16
隠し部屋のエクスポート	16
隠し部屋の削除	16

ようこそファイル・カテナチオへ

ファイル・カテナチオとは

ファイル・カテナチオは、「隠し部屋」という特殊なフォルダーにファイルを隠すソフトウェアです。

隠し部屋の中身は、エクスプローラー等による通常のファイル操作では見ることができません。カテナチオフィラーという、専用のファイラーによって操作・閲覧することができます。

隠し部屋は NTFS ファイルシステム上のみ作成できます。

ファイル・カテナチオは隠し部屋の動画、画像、電子書籍といった閲覧用のファイルは、隠したままで閲覧や再生ができます。

MS Office や 一太郎等の各種アプリケーションの文書ファイルは、隠したままで閲覧や編集をすることができます。

ファイル・カテナチオの対応ファイル形式

ファイル・カテナチオのファイル形式ごとの対応を以下に示します。

対応ファイル形式は、バージョンアップによって変更する場合があります。

1. 隠し部屋に格納できない形式

実行可能ファイル .exe .dll .bat .com .cmd .ocx .vbs .wsh など

対応ファイル形式は、バージョンアップによって変更する場合があります。

2. 隠し部屋に格納できる形式（閲覧用データ）

動画データ	.wmv	.avi	.mpg	.mpeg
画像データ	.jpg	.jpeg	.png	.bmp
電子書籍	.pdf	.dmmb		

3. 隠し部屋に格納できる形式（閲覧・編集用データ）

上記以外のファイル形式全般

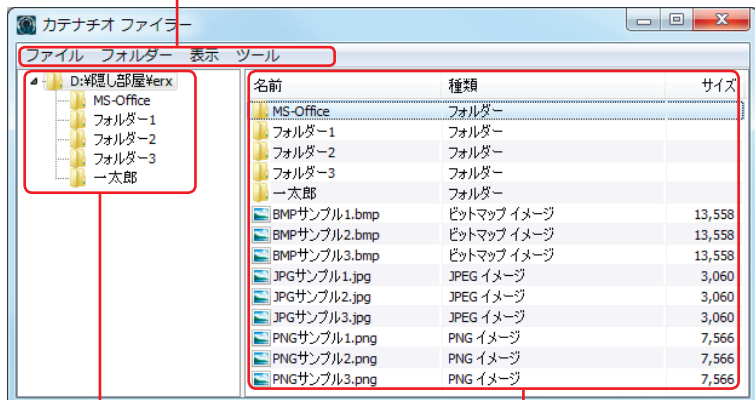
※ 閲覧・編集可能な形式は PC にインストールされているアプリケーションにより異なります

※ ファイルを隠すという性質上、Excel の外部参照機能や HTML のハイパーリンクのように、他の文書ファイルの内容を参照するデータ形式には対応できません

ファイル・カテナチオのインターフェイス

ファイル・カテナチオは「カテナチオファイラー」というファイラーを内蔵しています。カテナチオファイラーのインターフェイスは、Windowsのエクスプローラーによく似ています。

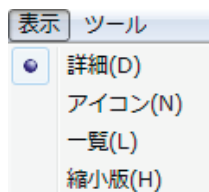
メニューバー
カテナチオの各種機能呼び出します。



フォルダーツリー
隠し部屋のフォルダー構造をツリー形式で表示し、操作をします。

ファイルリスト
フォルダーツリーで選択されたフォルダー内のデータを一覧表示し、操作をします。

ファイルリストは4種類の表示方法を選択できます。表示方法を切り替えるには、メニューバーの「表示」メニューから選択します。

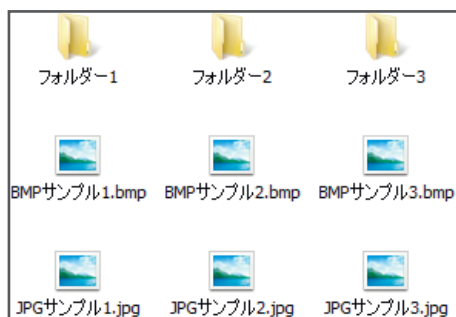


① 詳細 (小さいアイコン、種類、サイズが表示されます)

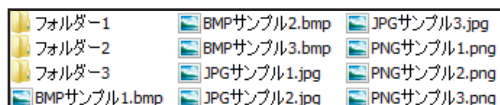
上のファイルリストが「詳細」表示となっています。

ようこそファイル・カテナチオへ

② アイコン（大きいアイコンが表示されます）



③ 一覧（小さいアイコンが表示されます）



④ 縮小版（大きいアイコン、画像はサムネイルが表示されます）



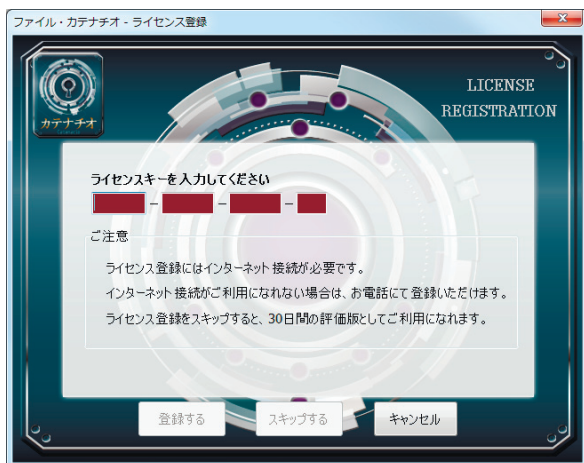
ファイル・カテナチオの使い方

使いはじめる（インストール）

ファイル・カテナチオはその性質上、インストール時にログオンしていたユーザーでのみ実行することができます。実際にファイル・カテナチオをお使いになるインストール権限のあるユーザーでログオンしてください。また、ライセンス登録のためにインターネット接続が必要となります。お手元にライセンスキーをご用意いただいた上で、インストーラーを実行してください。



[INSTALL] ボタンを押すと使用許諾に同意いただいた後に、ライセンス登録画面が表示されます。



ライセンスキーを入力して[登録する]ボタンを押してください。ライセンス登録に成功するとインストールが開始されます。

ファイル・カテナチオの使い方

インストールが完了すると、スタートメニューとスタートメニューのスタートアップにファイル・カテナチオのショートカットが作成されます。

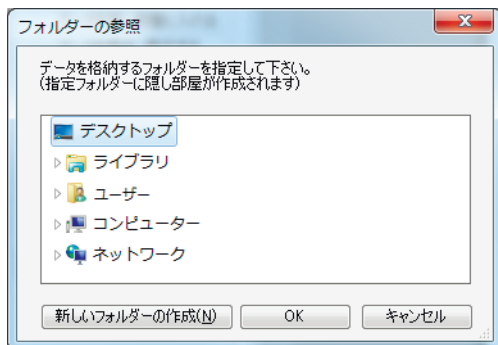


Security Guard

秘匿性向上のため、ショートカットの名前は「Security Guard」になっています。ファイル・カテナチオを他者に見つからないようにしたい等の場合には、これらのショートカットは削除しても構いません。

隠し部屋をつくる

初めてファイル・カテナチオを起動された時には、まず隠し部屋の場所を決めていただきます。



隠し部屋は NTFS ファイルシステム上にのみ作成することができます。ネットワークドライブも指定できますが、再接続できない等のトラブルがあると正しく動作しませんのでご注意ください。

既存のフォルダーを隠し部屋に指定しても構いませんが、他のデータと混在しないように、[新しいフォルダーの作成]で空のフォルダーを作成することをおすすめいたします。

隠し部屋の中には erx および sbx という隠し属性・システム属性のフォルダーが作成されます。このフォルダーの中に隠されたデータ構造が構築されます。

隠し部屋を開く

隠し部屋を開くには、タスクバーのカテナチオアイコンをトリプルクリックして、合言葉の入力画面を開きます。秘匿性向上のため、シールドアイコンにマウスを合わせると「Security Guard」と表示されます。







合言葉の初期設定は ↑↑↓↓←→←→ BA です。(矢印はカーソルキー、英字は大文字でも小文字でも構いません)

合言葉は環境設定で変更することができます。

合言葉は10秒以内に入力してください。また、合言葉を間違えた場合は、再度カテナチオアイコンのトリプルクリックからやり直してください。また、トリプルクリックは、カテナチオアイコンをゆっくりと10回クリックすることで代替できます。この操作に時間制限はありません。

タスクバーにカテナチオアイコンがない場合は

タスクバーに格納されたアイコンはWindowsが隠してしまうことがあります。隠されたアイコンを表示するには、Windows 8の場合はタスクバーのボタンを、7の場合はボタン、Vistaの場合はボタン、Xpの場合はボタンをクリックします。

常にカテナチオアイコンが表示されるよう、タスクバーをカスタマイズしておくくと便利です。(方法はWindowsのバージョンによって異なります)

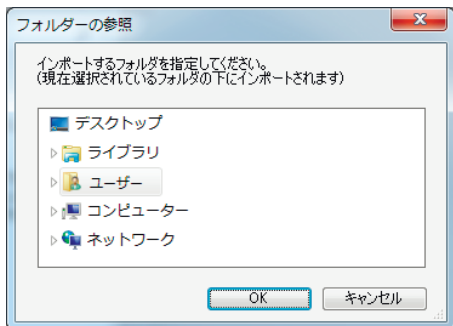
ファイル・カテナチオの使い方

ファイルを隠し部屋に入れる

方法1. インポート機能を使う

格納したいファイルのあるフォルダーを選択して、一括でインポート（取り込む）機能です。元のフォルダー構造は維持されます。

インポート機能を使うには、メニューバーの「フォルダー」メニューより「インポート」を選択してください。



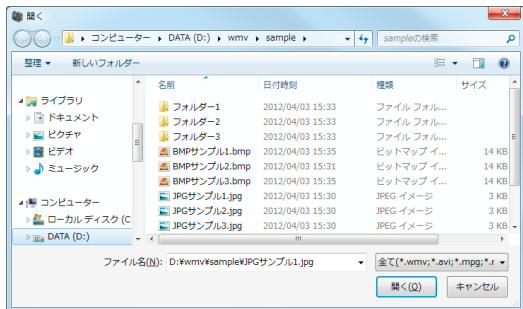
インポートするフォルダを選択して [OK] を押すと、インポートが開始されます。

ファイル・カテナチオが対応していないファイルはスキップされます。

方法2. ファイルの追加機能を使う

1つのファイルをインポートする機能です。

ファイルの追加機能を使うには、メニューバーの「ファイル」メニューより「追加」を選択してください。



インポートするファイルを選択して [開く] を押すと、インポートが開始されます。

方法3. ドラッグ・アンド・ドロップを使う

エクスプローラー等のファイラーソフトからドラッグして、カテナチオファイラーのファイルリスト上にドロップしてもインポートすることができます。

ファイル、フォルダーともにドロップできます。フォルダーの場合は、元のフォルダー構造が維持されます。

ファイル・カテナチオが対応していないファイルはスキップされます。

閲覧用ファイルを閲覧・再生する

カテナチオファイラーのファイルリストより閲覧・再生する対象のファイルを選んで、「ファイル」メニューより「開く」を選択してください。ファイルリスト上でダブルクリックする、または右クリックメニューより「開く」を選択しても同じです。

データが再生・表示される方法は、データ形式によって異なります。

動画データ	環境設定で選択されたメディアプレーヤー (初期設定は Windows Media Player)
画像データ	ファイル・カテナチオイメージビューアー (カテナチオファイラーに内蔵)
電子書籍	Windows に関連付けされたビューアー (Adobe Reader と DMM 電子書籍ビューア での動作を確認済みです。)

お使いのメディアプレーヤーや電子書籍ビューアーの種類によっては、隠し部屋のデータを再生・表示できない場合があります。その際は、上の表に記載されたプレーヤーやビューアーをお使いください。

ファイル・カテナチオの使い方

各種アプリケーションの文書ファイルを閲覧・編集する

カテナチオファイラーのファイルリストより閲覧・編集する対象のファイルを選んで、「ファイル」メニューより「開く」を選択してください。ファイルリスト上でダブルクリックする、または右クリックメニューより「開く」を選択しても同じです。

このとき、文書ファイルは「サンドボックス」と呼ばれる一時的な隠しフォルダーに一旦格納され、アプリケーションから開かれます。また、アプリケーションを閉じることによって、隠し部屋に戻されます。

文書ファイルを上書き保存した場合は、隠し部屋の文書ファイルに上書きされます。

文書ファイルに名前をつけて保存した場合は、隠し部屋に新たな名前の文書ファイルとして保存されます。

上書き保存する際に、サンドボックス内に新しいフォルダーを作成した場合は、隠し部屋にも同名のフォルダーが作成されます。

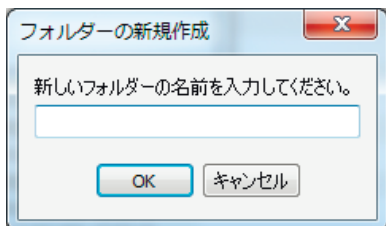
サンドボックスよりも上位のフォルダーに保存された文書ファイルは、隠し部屋に保存することができませんのでご注意ください。

ファイルを管理する

1. フォルダー管理

カテナチオファイラーは、フォルダーによるファイル管理ができます。フォルダーはサブフォルダーを持つことができ、サブフォルダーは更にサブフォルダーを・・・と多階層のフォルダーでファイルを管理できます。

フォルダーを作成するには、「フォルダー」メニューより「新規作成」を選択してください。ファイルリストの右クリックメニューより「フォルダーの新規作成」を選択しても同じです。

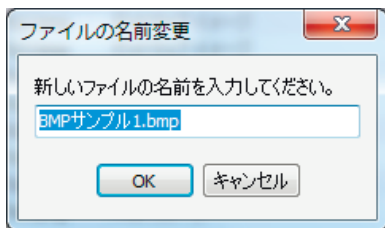


フォルダーの名前を入力して [OK] を押すと、フォルダーが作成されます。

2. 名前の変更

フォルダーやファイルの名前を変更することができます。

名前を変更するには「フォルダー」メニュー、または「ファイル」メニューより「名前の変更」を選択してください。フォルダーツリーやファイルリストの右クリックメニューより「名前の変更」を選択しても同じです。



新しい名前を入力して [OK] を押すと、名前が変更されます。

重複する名前をつけたり、ファイルの拡張子を変更することはできません。

「ボスが来た！」機能

「ボスが来た！」機能とは、現在表示されている画面を全て隠し、サウンドをミュートし、代替画面を表示する機能です。

マウスの左右ボタンを同時に押すと代替画面を表示します。再度、左右ボタンを同時に押すと隠した画面を表示し、ミュートを解除します。

代替画面の表示中にファイル・カテナチオを終了しても、画面やミュートはそのままとなります。これはファイル・カテナチオの終了と同時に隠したい画面や音が出ないための仕様です。

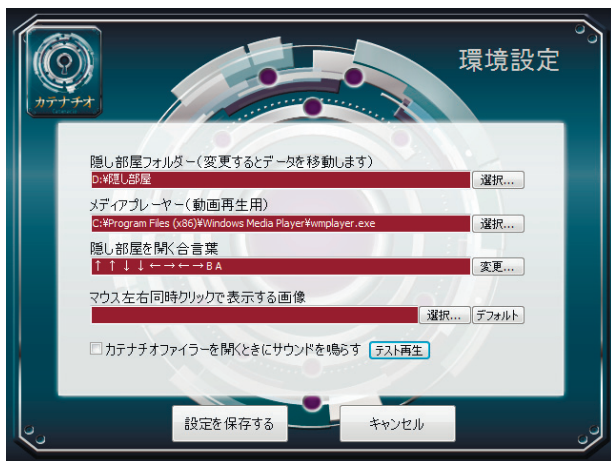
代替画面は環境設定で任意の画像に変更することができます。

また、「ボスが来た！」機能はファイル・カテナチオの実行中はいつでも（カテナチオファイラーを開いていても、いなくても）利用することができます。

環境設定

環境設定では、ファイル・カテナチオの動作をカスタマイズすることができます。

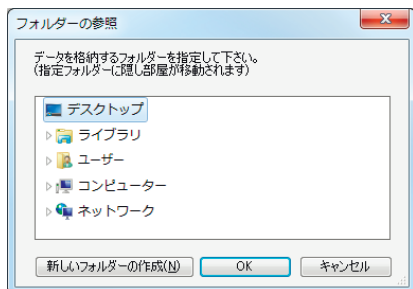
「ツール」メニューより「環境設定」を選択すると、環境設定画面が開きます。



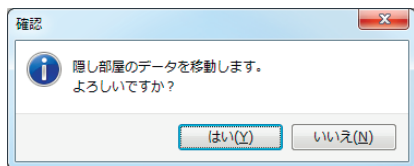
隠し部屋フォルダーを移動する

HDDの容量が不足してきた、隠し部屋をもっと分からない場所に移したい…などの理由で、隠し部屋を移動する時に利用する機能です。

「隠し部屋フォルダー」の[選択...]ボタンを押して、移動先のフォルダーを選択してください。NTFSファイルシステム上のフォルダーのみ指定可能です。



移動先を選択した時点では、まだ隠し部屋は移動されません。環境設定画面の [設定を保存する] ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。ここで [はい] を選ぶと、隠し部屋の移動が開始されます。



移動先の容量不足等で移動に失敗したり、移動を途中でキャンセルした場合は、隠し部屋は元の位置のままとなります。移動終了後、元の隠し部屋フォルダーからデータは移動されますが、フォルダーは残ります。不要な場合は削除してください。

メディアプレーヤーを変更する

動画を再生するメディアプレーヤーを、お好みのプレーヤーに変更できます。初期設定では Windows Media Player が選択されています。

「メディアプレーヤー」の [選択 ...] ボタンを押して、お好みのプレーヤーの実行ファイル (.exe 形式のアプリケーションファイル) を選択してください。

プレーヤーによっては、隠し部屋のデータを再生できない場合があります。その場合は、Windows Media Player を再度選択してお使いください。

カテナチオファイラーを開くときにサウンドを鳴らす

カテナチオファイラーを開くときにサウンドを鳴らすかどうかを変更することができます。初期設定ではサウンドを鳴らさないように設定されています。

サウンドを鳴らす設定にするには「テスト再生」でサウンドのテストをしてください。テストでエラーが発生した場合は、サウンドを鳴らす設定にできません。

環境設定

合言葉を変更する

隠し部屋を開くための合言葉を変更することができます。
「隠し部屋を開く合言葉」の [変更 ...] ボタンを押すと、変更画面が表示されます。



合言葉の初期設定は ↑↑↓↓←→←→BA です。(矢印はカーソルキー)
合言葉には最大 16 個までの任意のキーを割り当てることができますが、日本語関連のキーや Print Screen キーなど、使用できないキーもあります。変更の際は、「新しい合言葉」欄や「メッセージ」欄を、注意してご覧ください。

新しい合言葉を入力して、[この合言葉を使う] を押すと、環境設定画面に戻ります。この時点では合言葉の変更はまだ有効になっておりません。環境設定画面の [設定を保存する] を押した時点で、新しい合言葉に変更されます。

合言葉を忘れてしまった場合は

秘匿性向上のため、環境設定画面以外から合言葉を変更することはできません。合言葉を忘れてしまった場合は、レジストリ操作でリセットできます。ファイル・カテナチオを終了してから、レジストリエディタにて `HEKY_CURRENT_USER\Software\CYBERFRONT\catenaccio\1.0` の `OpenCommand` 文字列を削除し、ファイル・カテナチオを起動してください。レジストリ操作は、他に影響が出ないように十分注意して行ってください。

ファイル・カテナチオのアップデート

「ボスが来た！」で表示する画像を変更する

マウスの左右ボタン同時押しで表示される画像を、任意の画像に表示することができます。画像はスクリーンの中央に表示されます。

「マウス左右同時クリックで表示する画像」の[選択...]ボタンを押して、画像ファイルを選択してください。選択できる画像形式は .jpg / .jpeg / .png / .bmp です。

初期設定に戻す場合は [デフォルト] を押してください。

ファイル・カテナチオのアップデート

新しいバージョンのファイル・カテナチオをインストールする場合は、新しいバージョンのインストーラーを入手・起動して、[UPDATE] ボタンを押してください。隠し部屋や環境設定の内容はそのままに、上書きインストールされます。

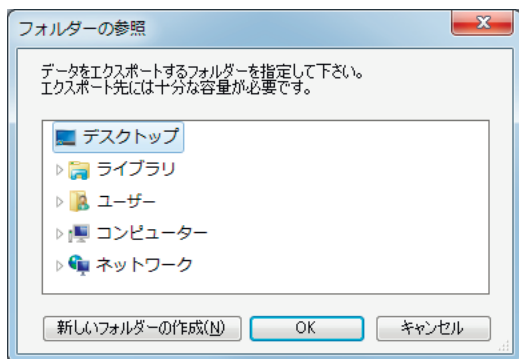


ファイル・カテナチオのアンインストール

ファイル・カテナチオをアンインストールする場合は、コントロールパネルから「Security Guard」のアンインストールを選択してください。インストーラーが起動しますので、[UNINSTALL] ボタンを押してください。

隠し部屋のエクスポート

アンインストールする際に、隠し部屋に隠されたデータを、通常のフォルダーに取り出すことができます。「データをエクスポートしますか？」の問い合わせに [はい] で応答すると、エクスポート先のフォルダーの選択画面が表示されます。



エクスポートするフォルダーを選択して [OK] ボタンを押してください。

隠し部屋の削除

アンインストールする際に、隠し部屋のデータを削除せずに残しておく、再インストール時に同じ隠し部屋を選択できます。隠し部屋を残すには、「隠し部屋フォルダーを削除しますか？」の問い合わせに [いいえ] で応答してください。

その必要がなければ [はい] で応答して、隠し部屋を削除してください。



株式会社アール・アイ

〒101-0045

東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 神田木原ビル

<http://www.ri-ir.co.jp/>